

## 令和2年度「若手研究者育成プログラム」採択研究課題について

若手研究者育成プログラムは、博士後期課程在学中の大学院学生に研究費を申請する機会を提供することにより、各学生が、研究計画調書の執筆から研究費のマネジメントまでの一連のプロセスのなかで若手研究者としての意識を醸成し、わが国および世界の将来を担う研究者へと育てていくための、キャリアアップ支援の提供を目的としたシステム情報工学研究群/科独自のプログラムです。

### 【審査結果】

申請者：12名 採択者：9名

### 【採択研究課題】

所属	学年	氏名	研究課題
リスク・レジリエンス工学	1	JOUBI Abdulrahman	Development of a Technical and Economic Energy Application Model for Concentrated Solar Plants Penetration in The MENA Region.
情報理工	1	陳 暘	AI を用いたコミュニケーションロボットの開発：音楽に基づくロボットの感情動作設計
コンピュータサイエンス	2	ERICA KIDO SHIMOMOTO	Context change detection in diary data for mental health care based on the word subspace representation
コンピュータサイエンス	3	Lincon Sales de Souza	Subspace-based methods for Anomaly Detection in Machine Operating Sounds
知能機能システム	1	猪崎 遼大	擦弦楽器における擦弦動作に関するヒトの演奏技術の解明
知能機能システム	1	於保 拓高	コナジラミ類の生態解明のための高分解能マイクロフォンアレイの開発研究
知能機能システム	2	佐藤 拓弥	画像処理を用いる豚呼吸器感染症罹患検出に関する研究
構造エネルギー工学	1	大村 浩之	大規模津波被害シミュレーションを目指した高効率な流体-構造連成解析手法の開発
構造エネルギー工学	1	堀江 正信	機械学習による数値シミュレーションの高効率化

## 【参考：本プログラムの概要】

### 1 申請資格

若手研究者育成プログラムに申請することができる者は、以下の条件をすべて満たす者とする。

- (1) システム情報工学研究群/科の博士後期課程に在学する大学院学生
- (2) 指導教員から指導助言・研究時間・研究スペース等の支援が得られる者
- (3) 日本学術振興会の特別研究員に採用されていない者
- (4) 学内外を問わず、他の同種の研究助成金の受給を受けていない者
- (5) 過去に本プログラムの支援を受けていない者
- (6) 本プログラムの支援期間中に休学を予定していない者

### 2 審査方法

システム情報工学研究群/科に設置する審査委員会が、書面審査の結果に基づいて採択研究課題を決定する。

### 3 採択件数及び金額

5件程度を目安とし、20万円を限度とする。

筑波大学システム情報工学研究群